

道新幹線工事、さらなる安全対策は

町長 今後、どう運搬するのか、十分協議していききたい

教育長 これからも通学路の安全対策に取り組んでいきたい



小川 不朽 議員

小川 北海道新幹線ニツ森トンネルの切削工事が始まった。掘削土の搬入場所が変更になったが、運搬経路の追加・変更に伴い、さらなる安全対策について伺う。

議を行っている。運搬経路が変わることについては、しっかりと周知し安全対策を講じなければならぬ。今後、峠下の仮置き場に運ばれた残土と、ニツ森トンネルで掘削している残土と、平成31年2月からの羊蹄トンネルの残土、この3つの運搬時期が重なることが一番危惧される。今後の花園への運搬のあり方について、経路と運搬の頻度も含めて、鉄道・運輸機構と十分協議していききたい。

について、実際に運行するトラックの運行状況の把握、繰り返し合同点検の実施など、通学路の安全対策に取り組んでいきたい。



切削工事が始まったニツ森トンネル（鹿子地区）

旭ヶ丘総合公園

遊歩道とフロートレイルの共生は

小川 昨年度実施の実証事業後のか。であったと認識しているか。

旭ヶ丘スキー場正面ゲレンデの原状回復は、十分今年度も実証事業としての位置づけであるか。

町長

占用許可を受けた者による原状回復は町として了解し、その後は町による対応と判断した。

旭ヶ丘公園スキー場夏季利用活性化の素案としての提案もあるので、保健保安林と連携利用も含めた全体構想の検討を行っている。

「世界に誇れる国際リゾートづくり加速化事業報告書」の中で、「旭ヶ丘スキー場夏季利用活性化（素案）」として旭地区生活環境保全林での利用にも言及しているが、園路（遊歩道）を整備した後にフロートレイルコースとして使えるかどうか、実証事業としてできるかどうかについては協議をして、もし使えらるれば、昨年同様、占用許可を与え限定して、一般園路として使う側とフロートレイルだけであれば土・日に占用し使うか、その内容、利用の仕方については協議になると思う。両方使うことが可能であれば、占用許可で貸し付けをしようと思っっている。



旭ヶ丘総合公園内

町長 モニタリング対象の土砂について運搬経路の変更が生じるが、その経路、地域特性に合った安全対策の実施について、事業主体・施工業者と調整・協

教育長

「通学路交通安全プログラム」を踏まえ、子どもたちが安全に通学できるよう対策を講じてきた。本格的に開始されるトンネル工事の土砂運搬の経路